

平成19年度森林環境基金事業の実績について

I 森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

事業概要

手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源地域の森林について、事前調査及び間伐等の森林整備を実施した。

森林整備事業（県営） 1,933ha 事業費 614,275千円
 森林整備促進事業（補助） 1,296ha 補助額 236,651千円

○H19実績

・県営事業 計画量2,084haに対して1,933ha（対計画比 93%）を実施した。

区分	水源区域		(H18-22) [ha]	特に緊急に整備すべき森林				備考
	区域数 [カ所]	私有林面積 [ha]		H19実績		実績累計		
				事前調査	森林整備	事前調査	森林整備	
県計	348	163,922	9,000	2,267	1,933	3,225	2,643	
県北	20	16,032	640	134	152	213	199	
県中	35	45,242	2,470	572	530	789	731	
県南	40	28,443	1,380	365	295	515	400	
会津	146	21,991	1,270	291	240	428	352	
南会津	67	3,841	190	102	75	140	96	
相双	27	23,716	1,220	322	217	454	307	
いわき	13	24,657	1,830	481	424	687	557	

※実績値は、各事務所毎に単位未満を四捨五入しているため、積上合計と県計は必ずしも一致しない。

・補助事業 H19年12月補正予算において、森林整備促進事業を創設し、実施した。
 計画量1,550haに対して1,296ha（対計画比 84%）を実施した。
 なお、一部（165,441千円）をH20年度へ繰り越した。

○実績累計

・森林整備面積（県営事業＋補助事業） 3,939ha。

2 森林環境適正管理事業

事業概要

森林情報を一元的に管理するとともに、地図を活用した森林情報を広く県民等に発信するため、森林GISの構築を進めた。

森林情報(GIS)活用推進事業 事業費 81,635千円

○H19実績

・業務委託により、森林資源情報システム及び施業履歴管理システムを開発するとともにデータ整備を行った。（森林GISは、H20に完成予定）
 また、検討委員会の有識者による技術的な指導を受けながら進めた。
 ・森林GISを有効に活用するために、GPSを導入するとともに、長伐期に対応した森林情報整備のための調査を実施した。

II 森林資源の利用促進

3 間伐材搬出支援事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援した。

間伐材運搬経費支援事業	25,000m ³	補助額	30,000千円 (1,200円/m ³)
林内作業路整備支援事業	72,000m	補助額	36,000千円 (500円/m)

○H19実績

- ・両事業とも対計画比100%を実施した。

○実績累計

- ・運搬経費支援 41,777m³
- ・作業路整備支援 84,000m

4 間伐材利用促進事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、県有施設工事への間伐材活用、県管理施設等へ間伐材を主体とする木材製品や資材の利用展示を行う安らぎの場の創出、間伐材や製材端材等の木質バイオマスの循環利用を推進するペレットストーブの導入及び導入支援を実施した。

県有施設の間伐材利活用推進事業	事業費	4,547千円
「ほっと」スペース創出事業	事業費	4,488千円
ペレットストーブ利用推進事業		8,146千円
県有施設への設置	(事業費)	5,796
民間施設への導入支援	(補助額)	2,350

○H19実績

- ・県有施設の間伐材利活用推進事業
猪苗代湖長浜駐車場に四阿を建築した。(生活環境部)
- ・「ほっと」スペース創出事業
JR新白河駅、喜多方合同庁舎など11施設にテーブル、ベンチ等を設置した。
- ・ペレットストーブ利用推進事業
県立磐城農業高校、郡山合同庁舎など15箇所(15台)の県有施設に設置した。
また、民間施設等への導入支援については、47台の導入を支援した。

○実績累計

- ・県有施設の間伐材利活用推進 2施設
- ・間伐材利用拡大モデル 2タイプ(常設1カ所、移動用1式)
- ・「ほっと」スペース創出 県有施設等11施設
- ・ペレットストーブ利用推進 県有施設25カ所(25台)、民間施設等47台、計72台。

Ⅲ 県民参画の推進

5 森林環境学習推進事業

事業概要

県民を対象として、各流域の特色を活かした森林環境ゼミナールを開催するとともに、森林環境学習に必要なフィールドの整備を行い、森林環境学習の推進を図った。

森林環境ゼミナール開催事業	事業費	2,620千円
森林環境学習の森整備事業	事業費	8,978千円
森林環境学習の森整備		(2,468)
学校林森林環境学習の森整備		(6,510)

○H19実績

- ・森林環境ゼミナール開催事業は、流域毎に4カ所（猪苗代町、須賀川市、鮫川村、新地町）で実施した。延べ参加者413名。
- ・森林環境学習の森整備事業は、村火県有林（県南）、県民の森（県北）の2カ所を実施した。
- ・学校林森林環境学習の森整備事業は、県立田島高校（南会津）、県立磐城農業高校（いわき）の2カ所を実施した。

○実績累計

- ・森林環境ゼミナール 延べ8回開催、延べ参加者943名
- ・森林環境学習の森整備 4カ所
- ・学校林森林環境学習の森整備 2カ所

6 森林ボランティア総合対策事業

事業概要

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアサポートセンターを設置するとともに、森林づくりを先導する事業やボランティア団体の活動を支援するほか、企業の森林づくりへの参加推進に努めた。

森林ボランティアサポートセンター設置事業	事業費	5,373千円
森林ボランティア活動推進事業	補助額	5,700千円
森林ボランティア活動活性化事業		(1,351)
森林ボランティア団体活動支援事業		(4,349)
環境貢献企業の森林保全参加推進事業	事業費	600千円

○H19実績

- ・森林ボランティアサポートセンターにおいて、ホームページ及び広報誌（「森ボラ新聞」4回発行）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。
- ・森林ボランティア活動活性化事業は、うつくしま21森林づくりネットワークの森林づくり推進連絡会議開催（3回）、森林づくり活動発表交流会開催（延べ120名参加）に対して補助を実施した。
- ・森林ボランティア団体活動支援事業は、19団体に対して補助を実施した。
- ・環境貢献企業の森林保全参加推進事業では県内企業150社に対し、森林づくりについての意向調査を実施した。（回答52社）
意向調査を踏まえた、企業への支援策を取りまとめ、企業の森林づくりを推進するため、PR用パンフレットを作成した。

○実績累計

- ・ 森林づくり活動発表交流会 2回開催、延べ参加者306名
- ・ 森林ボランティア団体活動支援 延べ37団体(38件)

7 もりの案内人等指導者養成事業

事業概要

もりの案内人を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境やその指導方法に関する研修会及び森林整備ボランティア団体のリーダーを養成した。

もりの案内人第2期養成事業	事業費	2,003千円
森林づくり指導者養成事業	事業費	1,206千円
森林環境学習指導者育成		(188)
森林ボランティアリーダー養成		(1,018)

○H19実績

- ・ もりの案内人養成講座は、32名に認定証を交付した。
- ・ 森林環境学習指導者育成は、もりの案内人等を対象に実施した。参加者20名。
- ・ 森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者19名。
- ・ 森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者の内、5日間以上の森林整備の指導実績を積んだ者を福島県グリーンフォスターに認定した。認定者6名。

○実績累計

- ・ 福島県もりの案内人認定者 H9からの認定者343名
- ・ 森林環境学習指導者育成 参加者63名
- ・ 森林ボランティアリーダー育成講座研修 修了者41名
- ・ 福島県グリーンフォスター認定者 H15からの認定者77名

8 みんなで育てる海辺の松林整備事業

事業概要

ふるさとの海岸松林を大切にす愛着心等を育むため、住民やボランティア団体との連携を図りながら、森林環境学習会及び荒廃した海岸沿いの保安林における作業体験を実施した。

森林環境学習会及び作業体験(木柵整備、森林整備)4回 事業費 1,879千円

○H19実績

相双、いわき農林事務所で計4回開催した。延べ参加者60名。

○実績累計

- ・ 延べ9回開催、延べ参加者172名

9 県立学校における森林環境学習推進事業

事業概要

県立高校において、森林を守り育てる意識の醸成等を図るため、木炭づくりやサギソウの保全、森林観察などの体験的な森林環境学習を実施した。

木炭づくりによる環境学習実践(会津農林高)	事業費	508千円
サギソウの保全と増殖を通じた森林環境学習(岩瀬農高)	事業費	3,173千円
体験しよう安達太良、考えよう福島の森林と環境(福島西高)	事業費	89千円

○H19実績

- 会津農林高校 製炭、炭材生産体験。
ドラム缶窯を使った事前練習。2年生、3年生による間伐実習。
薪割り機の購入。冬期に製炭実習を実施。
- 岩瀬農業高校 森林調査、水質調査と浄化の取組み、サギソウ苗の定植。
学校内、学校外における成果発表を実施。
- 福島西高校 安達太良山を会場とした森林環境学習を実施。
講師：福島大学共生システム理工学類 准教授 黒沢高秀
野外活動や講義などを通して当県の森林と環境について学習した。

○実績累計

- ・実施学校数 3校

IV 森林文化の復興

10 ふくしまの森林文化復興事業

事業概要

ふくしまの森林文化を見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化を掘り起こし、県民に分かりやすい形で公表するためのデータベースの作成を行った。

事業費 6,875千円

○H19実績

業務委託により、検討委員会を開催し（計4回）、有識者の指導の下に、森林文化事例の詳細調査、データベースの構築を進めるとともに、森林文化フォーラムの開催（1月20日開催）等の効果的な広報の仕方について具体的な検討を行った。

V 森林環境の調査研究

11 森林整備効果実証事業

事業概要

森林整備による効果を実証するため、森林整備事業のモデル地域において、水環境の変化等を調査研究した。

事業費 3,187千円

○H19実績

業務委託により、昨年度に引き続き白河市の調査地1カ所について調査機器を設置し、二本松市の2カ所と併せて3カ所で観測（量水試験）を実施した。

12 ペレットストーブ研究開発事業

事業概要

木質バイオマスのエネルギー利用を推進するため、ペレットストーブの研究開発等を行った。

事業費 329千円

○H19実績

NPOと協働で、林業祭（木材フェア）、JAまつり等のイベントに出展し、ペレットストーブ、県産ペレット、木質バイオマスに関するPR活動を実施した。

○実績累計

- ・試作機の完成と県産ペレット等のPR

13 間伐材及び木炭を利用した水質浄化技術研究事業

事業概要

間伐材、木炭等の積極的な活用を推進するため、木工沈床や木炭等を活用した水質浄化について調査研究した。

事業費 1,652千円

○H19実績

- ・木製水路（木炭を含む）による水質浄化試験
農業総合センター内のほ場に木製水路（木炭含む）を設置し、水質分析を実施した。その結果、木炭による水質浄化効果はある程度確認された。
- ・木工沈床によるビオトープ形成の確認
内水面水産試験場の水槽に木工沈床を設置・モツゴを放流し、モツゴの増殖を確認した。その結果、木工沈床によるモツゴの増殖効果が確認された。
- ・結果を取りまとめ、県（研究開発室）のホームページで公表した。

VI 森林環境基金の運営

14 森林環境基金運営事業

事業概要

森林環境税に対する県民の理解を深めるため、パンフレット配布やホームページ等による広報、フォーラムの開催等を行った。

森林環境税関連施策PR事業 事業費 4,403千円

森林の未来を考える懇談会運営事業 事業費 1,042千円

○H19実績

PR事業

- ・パンフレット等資料の配布やホームページによりPR活動を行った。
- ・県政広報ラジオ、月刊誌「林業福島」により、おのおの月1回づつ、PR活動を行った。
- ・メディアツアーを実施し、県政記者に事業実施箇所を紹介して、事業をPRした。
- ・林業祭や林業会館ショウウィンドウにおいて、県内の名水(11種)を紹介しながら、森林環境基金事業をPRした。
- ・水源区域の森林整備交流会（7生活圏ごと）を開催し、上下流の交流の中で森林整備の重要性をPRした。延べ参加者311名。
県南の取り組みについては、県政広報番組「おしえて！うつくしま（FCT）」で放映した。
- ・ふくしま森林文化フォーラムを開催し、広く森林文化を紹介し森林を守り育てる意識の醸成を図った。参加者200名。

懇談会運営事業

- ・懇談会を5回開催した。

主な内容 事業評価と見直しについて協議。

平成19年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の追加分を審査

平成20年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査

平成19年度事業の調査（現地調査）

○実績累計

- ・森林環境フォーラム 参加者200名
- ・メディアツアー 1回
- ・水源区域の森林整備交流会 7回開催、延べ参加者311名
- ・ふくしま森林文化フォーラム 参加者200名
- ・懇談会開催 9回

VII 市町村が行う森林づくりの推進

15 森林環境交付金事業

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫をこらした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付した。

森林環境基本枠 全ての市町村が一定の取り組みを継続的に実施する 78,983千円

【対象分野】 県民参画の推進
森林の適正管理推進
森林環境学習の推進

地域提案重点枠 市町村の創意工夫による優れた提案事業 188,909千円

【対象分野】 森林整備の推進
県産間伐材の利活用推進
木質バイオマスの利活用推進
その他

○H19実績

- ・森林環境基本枠

交付金額78,983千円（いわき市7,004千円～湯川村538千円 平均1,316千円）

森林環境学習実施校：小学校289校、中学校91校、計380校。（全校の48%）

- ・地域提案重点枠

交付金額188,909千円、45市町村、104件（事業申請：45市町村、127件、309,972千円）

○実績累計

- ・森林環境基本枠

交付金額158,363千円

森林環境学習実施校：小学校351校、中学校116校、計467校。（全校の59%）

- ・地域提案重点枠

交付金額283,427千円、47市町村、延べ146件。